



# 津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 TEL288-7420

令和6年10月2日(水) NO.7

校訓 ☆燃えるような情熱 ☆ひたむきな純粋さ ☆たゆみない向上心



## 「不易と流行」

校長 田中 宏志

10月に入り、本年度も折り返し、10月2日(水)に後期役員の任命式がありました。10月7日(月)からは後期生徒会や学級役員が交代し、新しいリーダーにバトンが渡されます。この津幡南中学校を、今以上の活力あるより良き学校となるよう、学習や各種行事、部活動等により主体的に取り組んでほしいと強く願っています。

さて、令和6年度後期のスタートするにあたり、「**不易と流行**」という言葉を取り上げたいと思います。この言葉は、江戸時代に活躍した松尾芭蕉が、俳句の精神として取り上げた言葉です。

**不易すなわち、変えてはならない伝統やしきたりを知らなければ、基礎が成り立たない。しかし、流行すなわち時代の変化に沿った新しさも知らなければ、新たなものは生まれません。**(「去来抄」より)

津幡南中学校の「**不易**」とは何でしょうか？

校長先生は、君たちの生徒会を中心とした学校行事での**主体的な活動**も、津幡南中学校に受け継がれている伝統だと思っています。9月20日(金)の運動会では、2度の日程変更をものともせず、3年生がリーダーシップを発揮し、1年生から3年生までの縦割りの集団をしっかりとまとめ上げてくれました。また、部活動における「**あきらめない心**」も津幡南中学校に受け継がれている伝統です。新人大会では、すべての競技を見ることができませんでしたが、1・2年生のみなさんは、壮行会で伝えた通り、一瞬一瞬に気持ちを込めて戦っていたと思います。



今の津幡南中学校は、学年が進むにつれ身体だけでなく心も成長し、周囲への気遣いもでき、中学校としてはとても良い状態です。前期に見ることのできた、先輩や仲間の頑張りや素敵な姿をしっかりと心に焼きつけ、前期に負けない後期につなげてほしいです。



しかし、これまでの伝統を受け継ぐだけでは、激しく変化する今の時代に対応することはできません。積み重ねてきた伝統を大切にしながら**新しいことにチャレンジ**することを忘れず、より良き津幡南中学校を創り上げてほしいと思っています。

### ■ ■ ■ 前期生徒会の皆さん、お疲れ様でした ■ ■ ■

後期生徒会へバトンが渡されました。前期生徒会の皆さんは、津幡南中学校をより良き学校にするために、生徒議会などで真剣に考えたり、学校放送や各種行事に取り組んだりしてきました。皆さんの熱い想いは、後期生徒会の皆さんが必ず引き継いでくれると思います。本当にお疲れ様でした。

【前期生徒会役員の皆さん】 14名

会長：杉本明日香	副会長：船木竜之介	副会長：楨矢とな美	書記：奥村 宥斗
書記：谷口ゆずの	広報：清水 恵亮	広報：西村 優杏	
文化：水岡 初花	生活：林 千尋	保健：出島 彩羽	給食：越後 心結
体育：清水 翔太	美化：酒井 里緒	図書：栗原 脩成	

★生徒指導より★

◇10月の生活目標◇



# 「何事にも積極的に取り組もう」

- ◆後期の係活動に積極的に取り組み、学校・学年・学級に貢献しよう。
- ◆学校行事と授業や部活動の両立に取り組もう。

積極的の反対は「消極的」です。消極的は、「**極めたことを消す**」と書きます。何も残らないということですね。積極的は、「**極めたことを積む(積み上げる)**」と書きます。何事にも積極的に取り組むと、積み上げる物がたくさんあり、そこで得た経験や学びが、自分を成長させたり、できなかったことができるようになることにつながると先生は思います。9月は「運動会」がありました。運動会では、一人ひとりが自分のできる「積極的」を実践していました。そこで得た経験や学びを活かして、これからの生活につなげていこう。

プラス言葉	マイナス言葉
明るくなる言葉 元気になる言葉 やる気が出る言葉 やさしい言葉 感謝の言葉 人を誉める言葉 <b>人を喜ばせる言葉</b>	暗くなる言葉 元気がなくなる言葉 やる気がなくなる言葉 不平・不満・悪口・文句 愚痴・泣き言・心配ごと <b>人に嫌な思いをさせる言葉</b>
嬉しい ありがとうございます ついてる 楽しい 感謝しています 簡単だ 幸せだ 頑張ります 出来る 豊かだ 充実している いける 大好き 素晴らしい 面白い	いやだ 難しい じゃまかい 忙しい 出来ない こまった 疲れた つらい むかつく だめだ やばい ゆるせない 苦しい 問題だ つまらない 不幸だ だるい ついてない
<b>言葉には、不思議な力があります。</b> <b>プラスの言葉をいつも使っていると、</b> <b>またこういう言葉を使いたくなるような</b> <b>嬉しい出来事が、どんどん起こります。</b>	<b>言葉には、不思議な力があります。</b> <b>マイナスの言葉をいつも使っていると、</b> <b>またこういう言葉を使ってしまおうような</b> <b>嫌な出来事が起こってしまいます。</b>

【↑積極的な言葉づかい&消極的な言葉づかい↑】



★学習指導より★

◇10月の学習目標◇

## 自主的な学習を進めよう

**授業** ベル学習の質を高めよう **家庭** 時間を決めて取り組み、内容の充実を図ろう

### 1. スキマ時間を活用して学習時間を増やそう！

古代ギリシャの哲学者アリストテレスは「人は習慣によってつくられる。優れた結果は、一時的な行動ではなく習慣から生まれる」という言葉を残しています。時間の使い方は習慣です。時間の使い方が上手だと優れた結果につながります。

例えば、毎時間3分のベル学を1年間続けるだけで、右の計算のように72時間もの時間の確保につながります。ちょっとした時間の積み重ねが大きな力になっていきます。ぜひ実践していきましょう。

#### 授業 ベル学

一人ひとりの心がけが大事！  
ベル学の習慣をさらに高めよう！

「人は習慣によってつくられる。優れた結果は一時的な行動ではなく、習慣から生まれる」



古代ギリシャの哲学者 アリストテレス



3分×6時限=18分  
18分×1週間(5日)=90分  
90分×1ヶ月(20日)=360分  
360分×12ヶ月=4320分

**72時間**

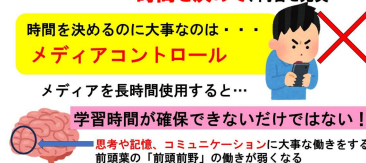
#### 家庭学習 時間を決めて、内容を充実

時間を決めるのに大事なものは・・・  
**メディアコントロール**

メディアを長時間使用すると...

**学習時間が確保できないだけではない！！**

思考や記憶、コミュニケーションに大事な働きをする前頭葉の「前頭前野」の働きが弱くなる



### 2. 家庭学習では、メディアコントロールに努めよう！

家庭学習においては、三点固定とメディアコントロールが重要です。学習開始時間を設定すると同時に実施時間も決めて取り組みましょう。テレビやゲーム、ネットなど様々なメディアに触れる時間も同じように開始時間と使用時間を予め決めるようにしましょう。テストに向けて自身の弱点を整理し、家庭でも学習を頑張ろう！